

SPORT  
FOR  
TOMORROW



## 第2回開発と平和のためのスポーツ国際デー 記念シンポジウム in 京都(立命館大学)

4月6日は「開発と平和のためのスポーツ国際デー」です。これは、1896年第1回近代オリンピック大会の開会式にちなんで2013年の国連総会で定められました。

**日時** 平成 28 年

4/6 wed.

17:00-19:45

(開場 16:30)

**会場**

立命館大学  
朱雀キャンパス

(京都市中京区西ノ京朱雀町1)

※二条駅より徒歩3分

皆さんにとってスポーツの価値とは何でしょうか。国境や文化、人種、性別などを越えて分かり合える。そんなスポーツの価値を人々が共有できた時、世界は平和に一歩近づくのではないのでしょうか。国連では、2013年から4月6日を「開発と平和のためのスポーツ国際デー(International Day of Sport for Development and Peace)」に定めています。また、日本では、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催国として世界のより良い未来を目指し、スポーツの価値を世界中に広げていくことを目的に「スポーツ・フォー・トゥモロー」というスポーツを通じた国際貢献事業を官民協働で行っております。

本シンポジウムは、「開発と平和のためのスポーツ国際デー」を記念した関西ではじめてのイベントです。「なぜスポーツを通じた開発・平和への取り組みなのか」「開発と平和のために、スポーツは何ができるか」、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて一緒に考えてみませんか？

【主催】(独)日本スポーツ振興センター

【共催】外務省、スポーツ庁、(独)国際協力機構、(独)国際交流基金、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本障がい者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会、(公財)日本アンチ・ドーピング機構、(大)筑波大学、一般社団法人ピースボールアクション、立命館大学、立命館大学産業社会学部、NPO 法人 AS.Laranja

【協力】(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

【後援】(特活)関西 NGO 協議会、国連広報センター、嘉納治五郎記念国際スポーツ研究・交流センター

参加申し込み：下記申し込みフォームよりお名前、所属、連絡先をご登録ください。

URL:<http://www.sport4tomorrow.jp/jp/news/invited/idsdp2016/>

お問い合わせ：Sport for Tomorrow Consortium事務局(日本スポーツ振興センター内)  
TEL: 03-6804-2776 E-mail: [sft.office@jpnспорт.go.jp](mailto:sft.office@jpnспорт.go.jp)

## プログラム

- 17:00 開会挨拶  
17:15 「開発と平和のためのスポーツ国際デーとスポーツ・フォー・トゥモロー」  
17:30 「開発と平和のためのスポーツ」の取り組み紹介  
「立命館大学の取り組み（日韓交流を中心に）」 権学俊（立命館大学産業社会学部教授）  
「トップスポーツクラブの取り組み」 是永大輔（アルビレックス新潟シンガポール CEO）  
「JICAの取り組み」 三次啓都（JICA 青年海外協力隊事務局審議役）  
18:30 「2020年大会に向けて」（東京オリンピック・パラリンピック組織委員会）  
18:45 パネルディスカッション「開発と平和のためにスポーツが果たせる役割」  
パネラー：JICA 青年海外協力隊事務局審議役 三次啓都  
アルビレックス新潟シンガポール代表 是永大輔  
ネパール野球ラリグラスの会代表 小林洋平  
モデレーター：上田滋夢（追手門大学社会学部教授、元 JFA 強化委員会委員）  
19:45 閉会挨拶

## 登壇者・パネリスト紹介



### 権 学俊

立命館大学産業社会学部教授

韓国出身。大学のプログラムとして日韓の学生交流事業などに取り組む。専攻は現代日本社会論・スポーツ政策論。主著に「戦時下日本における大相撲の変容と創られた相撲ブーム」、「近現代日本社会における天皇制とスポーツに関する一考察」など。



### 是永 大輔

アルビレックス新潟シンガポール CEO

2008年アルビレックス新潟シンガポール代表取締役役に就任。現在は、シンガポールリーグに参入しながら、マレーシア・カンボジア・ミャンマーなどでサッカー教室を中心とした CSR 活動を実施している。



### 三次 啓都

JICA(国際協力機構) 青年海外協力隊事務局審議役

SFT コンソーシアム運営委員。マラウイ、カンボジア、フィリピンの他に、イギリス、イタリアにも長期滞在し、開発途上国の貧困対策、環境問題に携わる。途上国の駐在では多くの青年海外協力隊に接し、現在は協力隊全般のマネジメントや協力隊の新しい事業に取り組む。



### 小林 洋平

NPO 法人ネパール野球ラリグラスの会代表

大学時代にネパールを訪れ、野球交流を行ったことをきっかけに1998年ネパール野球ラリグラスの会を設立。活動内容は、野球用具の寄付、指導員の派遣など多岐に渡る。2015年4月に発生した震災以降は復興支援活動も行なっている。



### 上田 滋夢

追手門学院大学社会学部教授

(財)日本サッカー協会では育成年代の代表強化と2002年W杯誘致に奔走。京都教育大学、中京大学、Jリーグの福岡、神戸、名古屋にて指導統括・チーム強化責任者を歴任。全世界のプロクラブ、スポーツ省、教育省関係者とネットワークを築く。競技力と開発・貢献を同時に実践。次世代に危惧を抱き現職へ。専門は「ガバナンス論」、「チームマネジメント論」。

## スポーツ・フォー・トゥモローとは

2014年から東京オリンピック・パラリンピック競技大会を開催する2020年までの7年間で開発途上国をはじめとする100カ国以上・1000万人以上を対象に、日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業。世界のよりよい未来を目指し、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げていく取り組みです。

### <スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム会員団体募集中>

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムでは、現在、SFTの取り組みをともに広げていただける会員団体を募集しております。詳しくはこちらのページをご覧ください。 <http://www.sport4tomorrow.jp/jp/>